

1 単元 日本の諸地域 北海道地方

2 目標

- 北海道地方の防災対策をはじめとする自然環境への人々の働きかけへの関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
(社会的な事象への関心・意欲・態度)
- 北海道地方について、自然環境を中核として生活や産業における人々の努力や工夫について多面的・多角的に考察し、防災の視点から再構成したことを説明することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 北海道地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料から、有用な情報を適切に選択して読み取ったことをまとめることができる。
(資料活用の技能)
- 北海道地方について、自然環境を中核とした考察を基に地域的特色を理解することができる。
(社会的な事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領解説社会編（平成29年7月）の地理的分野「C 日本の様々な地域（3）日本の諸地域」に位置付けられている。既習事項として九州地方の地域的特色を捉える学習活動を行い、自然環境を中核として、環境問題とその環境保全の取組について考察してきた。本単元では、北海道地方の地形や気候等の自然環境に関する特色ある事象を中核として、そこに暮らす人々の生活・文化や産業等に関する事象と関連付け、自然環境が地域の人々の生活・文化などと深い関係をもっていることや自然災害に応じた防災対策が地域の課題となること等について考察することをねらいとしている。

(2) 生徒の実態 (第2学年*組 *人)

平成*年*月*日調査実施

○イギリスの気候は西岸海洋性気候であり、高緯度の割には温暖である。その理由を述べよ。

- ・北大西洋海流と偏西風の二つの社会的事象を関連付けて答えた生徒 *人
- ・一つの社会的事象に触れて答えた生徒 *人
- ・文章が不適切であった生徒 *人 ・無答 *人

誤答を見ると、「あたたかい気候だから」のように、なぜそうなるのか説明するための根拠を示すことができている文章がみられた。また、一つの社会的事象にだけ触れて答えている不十分な解答をした生徒が最も多かった。このことから、社会的な事象について一面的な理解しかできておらず、諸資料から分かったことを適切に用い、根拠を示して説明する力が不十分であるという生徒の実態が分かった。

(3) 指導観

本単元では、諸資料から調べて考察したことを根拠を示して説明する力を育てるために、北海道地方の地域的特色を捉え、考察したことを防災の視点から再構成する活動を行わせる。まず、北海道地方に関する社会的な事象について、諸資料から自然環境、産業、人々の生活の視点で調べ、分かったことをワークシートにまとめさせる。その際、調べたことと既習である他地域の地域的特色との比較や関連付けができるようにする。さらに、防災という視点から、考察したことを再構成する活動を行わせる。そうすることで、自然環境、産業、人々の生活の視点で考察したことを防災という視点から再構成することができる、社会的な事象について多面的・多角的に考察することができると考えた。

本時では、再構成したことを説明するために、防災レポートを作成する。この活動を行うことで、地域的特色について根拠のある意見をもつことができ、考察したことを説明する力の育成につながっていく。このように、他地域の地域的特色と比較し関連付けながらまとめ、考察したことを防災という新たな視点で再構成する活動を行い、防災レポートを作成することで、社会的な事象について根拠を示して説明する力を育てることができると考え、授業を設定した。

キャリア教育の視点として、既習事項や資料を関連付け、必要な情報を選択・活用し、考察したことを再構成する学習活動を通して、「解決する力」(課題対応能力)の育成を図っていきたい。

4 指導と評価の計画

時	学 習 内 容	評 価 規 準 と 方 法	評価の観点				やしろキャリアプラン				
			関	思	技	理	専攻	専攻	専攻	専攻	
1	・北海道地方の自然環境の特色を資料から見だし、特色をつかむ。 ・単元の学習課題を設定する。	・北海道地方の自然環境に対する人々の働きかけへの関心をもって追究しようとしている。 (ワークシート、発表)	○					○			
2	・地図や主題図などの資料から、北海道地方の産業について調べ、まとめる。	・資料から必要な情報を読み取り、産業と自然環境の関連についてまとめることができる。 (ワークシート、発表)			○					◎	
3	・寒さ、雪、火山の三つのテーマについて、人々の生活と自然環境を関連付けながら調べ、まとめる。	・資料から必要な情報を読み取り、人々の生活と自然環境の関連をまとめることができる。 (ワークシート、発表)			○					○	
4	・北海道地方の農業の発展について資料から調べ、まとめる。 ・北海道地方の地域的特色について考察したことをまとめる。	・北海道地方について自然環境を中核とした考察を基に地域的特色を理解することができる。 (ワークシート、発表)				○					○
5	・自然環境、産業、人々の生活の三つの視点からまとめた社会的な事象を、防災の視点から再構成し、社会的な事象を捉え直す。	・自然環境を中核として生活や産業とを関連付けながら多面的・多角的に考察し、考察したことを防災の視点から再構成することができる。 (ワークシート、発表)		○					◎		
6	・再構成したことを基にして、防災レポートを作成し、考察したことを根拠を示して説明する。	・防災の視点から再構成したことを、防災レポートを作成して説明することができる。 (防災レポート、発表)		○						◎	
7	・作成した防災レポートを紹介し合い、北海道の地域的特色について考察したことをまとめる。	・北海道地方について自然環境を中核とした考察を基に地域的特色を理解することができる。 (ワークシート、発表)				○	○				

5 本時の指導

(1) 目標

- 防災の視点から再構成したことを、防災レポートを作成して説明することができる。
(社会的な思考・判断・表現)

(2) 準備・資料

ワークシート、再構成カード、ヒントカード、資料集、新聞、パソコン、大型テレビ

(3) 展開

学習活動及び内容	支援及び指導上の留意点 (○) と評価 (◎) キュリア教育の視点でのアプローチ方法 (※)
<p>1 北海道地方についての新聞記事から、分かったことを発表する。</p> <p>2 前時までのワークシートを見直し、本時の学習課題を確認する。 北海道地方での防災に関わる取組について、レポートを作ろう。</p> <p>3 前時に使用したカードを使い、紹介するべき内容を選択する。 ・自然環境と防災に注目する。(緑) ・人々の生活と防災に注目する。(黄) ・産業と防災に注目する。(桃)</p> <p><予想される生徒の反応> ・地震への対策となるものを調べよう。 ・雪への備えは、生活の工夫の中にあつたから使えそうだ。 ・海沿いの人たちの生活には、どんな防災の取組があるだろう。</p> <p>4 複数のカードを操作しながら考察し、再構成したことを基に防災レポートを作成する。</p> <p><予想されるレポートの内容></p>	<p>○新聞記事を紹介することで、北海道の様子に触れさせ、関心を高める。</p> <p>○前時に整理した内容を確認することで、学習の見通しをもたせる。</p> <p>○これまで学習したことを防災の視点から再構成したことをまとめる活動であることを確認し、活動に取り組みやすくする。</p> <p>○自然環境、人々の生活、産業の三つの視点でまとめたことが3色のカードになっていることを確認し、どの視点でまとめたことを防災の視点で再構成しているのかを理解しながら活動できるようにする。</p> <p>○カードを見ながら、内容を選択するには北海道の地域的特色の説明となりそうなものを選ぶように助言する。</p> <p>○複数のカードを関連付けながら、考察していくこと伝え、多面的・多角的な考察となるようにする。</p> <p>○教科書、資料集、新聞記事、自分で調べてきたこと等を根拠となる資料として使うことを確認し、根拠のあるレポートを作れるようにする。</p> <p>○必要に応じて、資料の読み取り方を記したヒントカードを提示し、活動に取り組めるようにする。</p> <p>○可能であれば、複数の内容を関連付けて考察してもよいことを伝え、上位の生徒の活動が充実するようにする。</p> <p>○考察したことの根拠となる資料をレポートの中に提示し、それを根拠に説明ができるようにする。</p> <p>○複数のカードを操作することで、社会的現象を関連付けながら考察することができるようにする。</p> <p>○必要に応じて、文章のまとめ方を記したヒントカードを提示し、活動に取り組めるようにする。</p>
<p>(自然環境と防災に注目したもの) ・北海道では、火山の噴火による被害を防ぐために、砂防ダムを設置したり、防災マップやジオパークを作ったりしている。これは、観光業だけでなく、環境や防災の学習にも役立てられている。</p> <p>(人々の生活と防災に注目したもの) ・北海道はたくさんの雪が降る。最近では、落雪を防ぐ工夫がされた住宅の屋根が見られるようになった。これは、落雪による事故を防ぐ取組とも言える。</p> <p>・ロードヒーティングや道路脇に設置された砂箱は、凍結を防いだり、スリップを防いだりするためのもので、安全に欠かせない設備である。</p> <p>・北海道で見られる、道路脇の矢印の標識や、縦型の信号機は、雪がたくさん積もった中でも交通事故が起こりにくくするための安全を高める設備である。</p> <p>(産業と防災に注目したもの) ・北海道では、植林活動を行い森を守り、豊かな海を作り出している。これは、森を守ることで、土砂崩れを防ぐ取組とも言える。</p> <p>・北海道の広大な土地を農地として開発していく中で作られた防風林は、農地を守ることはもちろん人々の生活を災害から守ることもなり、防災の役割も果たしている。</p> <p>・北海道で多く見られる泥炭地を土地の改良を進めて、農地として開発してきた人々の取組は、洪水を防ぐ治水事業と言うこともでき、防災の側面をもっている取組だと言える。</p>	
<p>6 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもてるようにする。</p>	<p>◎ 防災の視点から再構成したことを、防災レポートを作成して説明することができる。 (防災レポート、思考・判断・表現)</p> <p>※考察したことを防災レポートの中で説明するために根拠となる資料を明示するように指示し、根拠を示して説明することができるようにする。</p> <p>※これまでの学習で作成したワークシートは、表紙をつけて冊子としてまとめ、学習の足跡として残すことを伝え、単元を通して学習課題の追究を行っている実感をもたせる。</p>